



県内を襲った豪雨による河川の氾濫で河口部や湾内に大量の流木や土砂が流出し、漁業などに影響が出ています。

①中津市の小祝漁港、別府市の亀川漁港ではどんな被害や影響が出ていますか？

小祝漁港では海や川からの水流を調整する導流堤の地盤が削られ、損壊。航路には土砂がたまり、水深が浅くなった。亀川漁港では船の係留所付近に竹やアシが浮いた。別府湾にまだ流木が滞留しているため漁に出られなくなっている。

県内を襲った豪雨による河川の氾濫で河口部や湾内に大量の流木や土砂が流出し、漁業などに影響が出て

豪雨で地盤が削られ損壊した導流堤。被覆石が剥がれ落ちた＝9日、中津市小祝漁港



中津 導流堤損壊、水深浅く

別府市の亀川漁港にも船の係留所付近に竹やアシが浮いていた。港内の清掃は終えたが、別府湾にはまだ流木が滞留。このため船のスクリーなどが破損する

中津市の小祝漁港。漁船の航路の海底が土砂で埋まらないように海や川からの水流を調整する導流堤が、山国川の水勢で地盤が削られ損壊した。航路には土砂がたまり、干潮時に2メートル水深が50センチになった場所もある。

いる。漁港では施設が破損し、漂流物のため出漁を控える漁業者も。大量の倒木が流れ着いた海水浴場は遊泳禁止が続く。国や県など関係機関は回収作業を進めている。

②海水浴場にはどんな影響が出ていますか？

大分市の田ノ浦ビーチには長さ約10メートルの倒木、竹やアシ、ペットボトルなどのゴミが大量に流れ込み、10日午後から遊泳禁止にしている。

県港湾課は「風向きや潮の満ち引きで漂流物の位置が変わり、まだ総量は見えない状況。国と連携して状況を注視し、撤去作業を進める」と話している。

撤去作業を進め、15日からは砂浜に引き上げた流木などの片付けを始めた。市公園緑地課は「まだ海に漂流物がある。今後の状況を見ながら遊泳再開を決めた」という。

ことを恐れ、漁に出ていない。「早く再開したいが、しばらく状況を見るしかない」と県漁協別府支店。大分市の田ノ浦ビーチには長さ約10メートルの倒木、竹やアシ、ペットボトルなどのゴミが大量に流れ込んだ。市は被害を確認した10日午後から遊泳禁止にしている。

海に大量の流木、土砂流出

③今後の対応について、担当の県港湾課は何と話していますか？

「風向きや潮の満ち引きで漂流物の位置が変わり、まだ総量は見えない状況。国と連携して状況を注視し、撤去作業を進める」